

●新型コロナウイルス感染者京田辺市でも発生

大都会など人口密集地域で感染が広がっていくのであろうと安易に考えてニュース報道を受け止めてきました。毎週水曜日の昼食は役所の食堂を利用してこれ迄だと正午ごろには定食弁当がかなり少なくなっていました。一般の人々が早めの昼食においでになって、常に 15・6 番の食事札だったのです。本日はこれまで当たったことのない 2 番の順番札でお客様の減少に驚きました。京田辺市でも感染者が発生したとのことでびっくり仰天です。外出が控えられている証明でした。また大変有名な喜劇タレントの志村けんさんが発症から 14 日で死去したとの報道もかなり強いインパクトで、特に高齢者においては病状のすごい進行スピードだということも印象付けられ恐怖心を再認識させたものです。私もその一人でした。そして井手町での町職員に患者が発生したことも、大変強いショックを受けました。ここから感じたのはウィルスに選り好みされなく、いつでもどこでも誰でも感染するものである病気ということを身をもって受け止めさせられました。これまでの報道で元気な若者は軽症と報道され、発症までに数日間あり、その間はウイルスをまき散らし感染者を増やしているらしいとのこと、また重傷者になる人が続いているらしいとのことでした。比較的高齢者は重症になりやすく進行スピードが速く命を落とす可能性が高いことも正しく、その上若い方にも年齢に関係なく誰にでも発病するもので、あるらしいと考え直さなければならないと思いました。密集場所 密接場面 密閉空間の重なり場면을回避することが必要と呼びかけられているので、これまで定例に行ってきた事務局会議は、窓を開ければ、対応策が出来ていると考えて、これまで会議を開催してきました。出席者のほとんどが高齢者でありかなり狭い場所であることを考慮すると、随分と危険と隣り合わせで行ってきたものです。

また議題も直ちに決定しなければならないものばかりではなく一定期間の事業は中止と決めてきたので、少しは余裕を持つことができるものであろうと思われます。火曜日に水曜日の定例事務局会議は延期中止できるものではないかと考え、急遽深田理事長と相談して農園作業に来ていただいている皆さんに連絡を取っていただき緊急会議出席をお願いしました。急な連絡であって、それぞれ都合がつかず、金田さんや森島さんが駆けつけていただき 4 人だったのですが、定例事務局会議の中止を確認しました。その内容は携帯電話を使って連絡を頂きました。今後について確認したことはメールを使ってレジメは送付することでした。また連絡を取らなければならないことはメールの活用で対応すること、そして各人は毎朝と毎夕にメールを読むことをお願いすることとしました。

長い文章になりましたが、会員各位にはこれまでと同様週刊ニュースにて情報はお届けする予定です。またできるだけホームページでも掲載いたしますのでこれまで通り目を通していただきますようお願いいたします。できれば身近な出来事をお寄せいただきますようお願いいたします。記事の提供をお待ちしています。

●京都府 2019 年度交響プロジェクト年度末 活動報告 資料まとまる

活動報告書提出期限が 4 月 10 日に迫ってきました。6 項目の活動についての収支決算報告書、支出内容内訳一覧表、事業報告書、加えて団体活動力向上活動報告書などが必要となっています。そして成果物などの添付があります。講師謝金では外部講師と内部講師費仕分けした報告書になっていますので日頃から随分と正確な処理が止められているのです。

かなり事務処理が必要となっています。丁寧に進めてきたつもりですが最終段階で点検してみますと不十分なところが随分と見つかって、なかなか大変な作業の連続になります。それでもみなさんのご協力があって出来上がってきました。少なくとも週明けには事前審査をお願いできるところまで進んできました。ご協力に感謝しています。領収書枚数は昨年度より 30 枚程増えました。特に竹幅精製機に係るものが増加したものです。領収書から見ますと精製機製作には金額以上に工夫がされ、そして実際運転にこぎつけるために想像を超える作業が積み重ねていただいたことが読み取れます。改めてご苦勞に感謝いたします。

●夏原グラントへの活動助成金の申請が成功できませんでした

2019 年の 9 月ごろから少し申請には難しいものがあると伝えられてきましたが、2 段階目の組織強化を目指す具体的な内容について議論を重ねてきました。中心を担っていただいた播川さんや大村さんには大津市や草津市での説明会に出席いただき大変ご苦勞をおかけしました。事務局会議でも数日時間を取って議論を重ねてきました。ミッションやビジョンをどう具体化するのかについて煮詰まらない中で不十分な申請となったようです。非常に苦勞して申請にこぎつけていただきました。まさに努力に努力を重ね全力を発揮していただきましたが、残念な結果になりました。今後何が不足なのかなど大いに検討し、これを機会に学びあい、さらに期待される組織に躍進し再挑戦出来るよう頑張っていきたいものです。ご検討ご苦勞様でした。

●4 月これからの活動について

第 3 回の理事会の開催 2019 年度の活動と決算報告、会計報告と監査役の監査、そして 2020 年度の活動方針案と予算案の確定し通常総会への議案の策定作業 続いて第 25 回通常相会議の開催が必須の課題となっております。しかし大規模な会議は自粛するようになり、公的会場の借用も難しい折苦慮しております。一部案としては郵送による議案書の送付で決定いただく手立てをとることもやむを得ないのではないかという声も聴かれます。大いに検討していきます。なお観察会の開催も更に充実を図らなければなりません。コロナウイルス感染を考慮した取り組みになりますので週刊ニュースをしっかりとご拝読いただきますようお願いいたします。